

農事組合法人きずな

地域一体となった大規模土地利用型農業経営として、国際水準GAPの取組を通じて、大規模多品目栽培における経営管理の強化や農業経営の見える化を実現。

代表者名：代表理事 齊藤 龍平 面 積：約120ha
 所 在 地：秋田県横手市 構 成 員：33名
 認 証：JGAP(平成30年) 品 目：米、そば、大豆、小麦、野菜(小玉すいか、ピーマン等13品目)、さくらんぼ、ぶどう

取組の紹介

【生産工程管理の改善に向けた取組】

- 持続可能な農業の基礎となる土づくりを基本とし、作物毎の土壌診断に基づく施肥設計により化学肥料を低減。
- 従業員とのコミュニケーションを重視し、朝礼で危険箇所の共有などを行うほか、年2回、面談を行い、出された意見や要望から、女性従業員のための休憩所を設置するなど労働安全や労働環境を改善。



朝礼ミーティングの様子

【生産効率性向上に向けた取組及び効果】

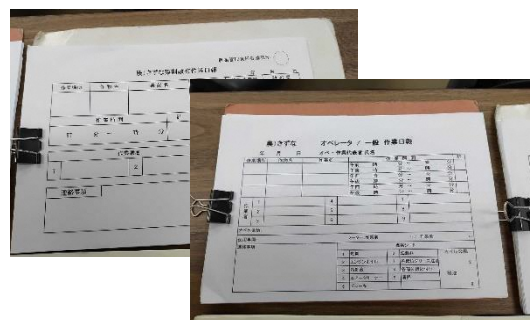
- 作業工程管理表を作成し、作業工程のリスクを洗い出し、改善。
- 農作業の省力化・効率化や猛暑時の収穫作業の軽労化を推進するため、直進アシスト田植機やドローン、アシストスーツなどのスマート農機を導入。



アシストスーツを着用したスイカの収穫

【経営改善に向けた取組及び効果】

- 規模拡大に伴い、繁雑になったほ場管理作業について、従業員全員が作業日誌に記録することをルール化。システム入力により営農情報の共有化や見える化を図り、作業ロスや無駄な資材購入が減少。
- GAP認証取得により、評価や信頼が高まり、取引先の新規獲得や契約・販売数量が増加。



作業内容の記録用紙

ホームページ

(農)きずなホームページ <http://kizuna-agri.com/>